

鍼灸おかやま

メールマガジン

平成29年11月23日【209号】

■発行:(公社)岡山県鍼灸師会
広報部 編集委員会

■発行所:〒700-0901

岡山市北区本町5-20
高島屋東館3F

TEL/FAX 086-224-2721

■会長:内田輝和 編集者:小原陸夫

わくわくこどもまつりin岡山ドーム 親子スキンタッチ教室の報告

(公社)岡山県鍼灸師会青年部長 福原 隆行

11月5日(日)10時~15時、わくわくこどもまつりin岡山ドームのブースにて、親子スキンタッチ教室を行いました。スタッフは岡山県、徳島県、愛媛県の鍼灸師12名と、四国医療専門学校学生2名で行いました。

例年1万8千人が来場する子育てイベントで、40ブースとステージや屋台があり、今回は10回目となります。本会はプレイベントから毎年参加しております。午前8時半に集合し、準備の後、ミーティングと指導者講習会を行いました。4班に分けて、呼び込み、受付、親子へのスキンタッチ指導、バルーンアートプレゼントを行いました。天気がよかったこともあり、多くの来場者でにぎわっていました。スタッフはすぐに流れを理解してスムーズに運営できたと思います。

昼食後、徳島県鍼灸師会の堀本先生による小児鍼講習会があり、参加したスタッフに好評でした。うさぎさんの着ぐるみとバルーンアートは子どもたちに大人気でした。午後3時にイベントは終了しました。

計72組(約150名)の親子が来場され、疳の虫14人(組)、夜泣き8、アトピー性皮膚炎・喘息3、便秘6、チック1、寝つきが悪い5、甘えたい1、頭痛1、中耳炎1、風邪をひきやすい1などの相談も受けました。

今回はお昼頃までに集中して来場された時間帯がありました。スタッフには午前と午後でグループ分けしたのでスムーズに運営できました。四国中央市のイベントで例年スキンタッチを行っている愛媛の田上先生と高橋先生から、広いドーム内で多くのブースがある中、「子どものためのつぼ健康法親子スキンタッチ」などと高いところに大きく掲げていたら呼び込みしやすいと意見をいただきました。子供に触れる機会が少ない現代だからこそ、スキンタッチを利用して毎日触れる機会を作ってほしい。そうお伝えしながら、触れることの体や心に与える影響を最も知っているのは、私たち鍼灸師なのだと、この活動を通じていつも思います。

来場者は一般の親子だけでなく、子育て支援センターや、保育園、幼稚園の先生にも興味深くお話をきいていただきました。一般にはベビーマッサージは行われています。小児鍼のこと、短い時間と少ない刺激でどういったことに効果的かをわかりやすくお伝えすることが必要であり、鍼灸治療の魅力をわかってもらうためには、具体的にどんなことに効果的かをもっと伝えていくべきだと感じました。

感想

四国医療専門学校 鍼灸マッサージ学科1年 名倉 英里

岡山ドームでの開催で、午前中は親子連れでかなり賑わっていました。ドーム内とはいえ寒かったので、パーカーやトレーナーの上からTシャツを着るスタイルでした。反省としては、もっと先生方に色々と質問すれば良かったなと感じます。忙しい時間帯には1人で対応することもあり、先生方に倣って対応することでとても勉強になりました。事前説明はシンプルでしたが、とにかく親子の触れ合いを促すことを意識して対応しました。子どもが5歳未満の親子が多く、言葉を持たない子を持つ親（特に1人目）は子どもの健康に敏感で、不安が多いのだと実感しました。夜泣き、便秘、下痢、冷えなど身近な症状を挙げて声をかけると、よく立ち止まって話を聞いてくれました。

赤ちゃんや授乳中の母親は飲める薬も限られますし、何もしてあげられないという不安を抱えて悩むより、家庭でできるスキンタッチの存在は、親にとっても心の支えになるのではないかなと思いました。とてもいい経験になり来年もぜひ参加したいと思います。ありがとうございました。

【施術風景】



【指導者講習会】



【集合写真】



会員の方で「鍼灸おかやまメールマガジン」の配信を受けたい方は、(公社)岡山県鍼灸師会メールマガジン担当(shinkyuu_okayama@yahoo.co.jp)までアドレス送信して下さい。受信後配信いたします。また、アドレスの変更、解除の場合もご連絡ください。